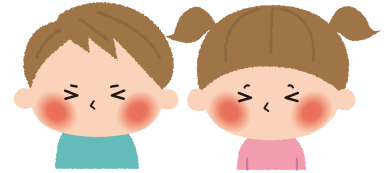


# 伝染性紅斑（リンゴ病）

## 1. 伝染性紅斑（リンゴ病）はどんな病気ですか？

ヒトパルボウイルスB19と呼ばれるウイルスによる感染症です。両頬がリンゴのように紅くなることからリンゴ病と呼ばれます。幼児や学童期に多いといわれています。



## 2. どのようにして感染するのですか？

- ①感染している人の咳やくしゃみで飛び出したウイルスを吸い込み感染する飛沫感染。
- ②感染している人との直接の接触や、ウイルスがついている手やドアノブを介して感染する接触感染。があります。

## 3. どのような症状ですか？

10～20日の潜伏期間の後、両頬に境界鮮明な紅い発疹が現れます。手や足にもレース様の発疹が現れ体幹部（胸腹背部）にもみられることがあります。これらの発疹は1週間前後で消失します。

## 4. 治療は？

特効薬はなく、対症療法が（症状を和らげる治療）が中心となります。ワクチンもなく、感染の予防が重要です。

## 5. 予防は？

うがい、手洗い、マスクの着用、咳エチケットを心がけましょう。発疹発現の7～10日程前がウイルスの排泄量が最も多く、感染力も強い時期です。発疹（紅斑）が現れたときにはウイルスの排泄はほとんどなく、他者への感染力はほとんどないといわれています。

## 6. 妊婦の場合は？

妊婦が感染すると胎児に影響が及ぶことがあります。流行期には感冒様症状の人に近づくことは避けましょう。

